

「ともなり」に、ちなんだものがいっぱいの矢板!

「ともなりくん」出番でござる

昨年度から、市のイメージキャラクターとして、「ポッポちゃん」と共に、さまざまなイベントで活躍している「ともなりくん」。趣味が和歌という、とっても可愛いゆるキャラです。この「ともなりくん」のモチーフは、もちろん塩谷朝業です。矢板市のPR活動に励んでいます。キャラクターグッズにもなっています。「これから一生懸命頑張る」とのこと。皆さん、どうぞよろしくお願いします。



ポッポちゃん ともなりくん

ともなり文芸祭り!

和歌の得意だった塩谷朝業にちなみ、平成12年から開催されている、「ともなり文芸まつり」。昨年度からは、短歌一般の部門を全国から募集しています。選者は、宮内庁歌会始めなどで選者をしている篠 弘氏。ぜひ、皆さんも文化に触れてみませんか。短歌のほかにも俳句、川柳、詩の優秀作品を紹介します。

第14回 ともなり文芸祭り

日時／平成25年2月24日(日) 13:00～

会場／市文化会館大ホール

内容／篠 弘氏(歌人)による講演会、表彰式、講評など



川崎城跡公園に遊びに行こう!

言わずと知れた塩谷朝業の居城。今、「川崎城跡公園再生市民会議」の皆さんによる整備により、明るく楽しい公園へと生まれ変わってきました。四季の花々が咲き誇り、遊歩道が整備され歩きやすくなった公園には、新たな発見がいっぱい。ここからの眺めは最高です。皆さんも一度足をはこんでみませんか。



咲きほこる紅白の梅林(3月ごろ)



“歌碑”が並びます



光と音のあんどんまつり(8月)

「ともなり」の功績

名門宇都宮家に生まれ、文武両道に優れていた「ともなり」は、本市のまちづくりや文化など、さまざまな分野で功績を残しています。

川崎城を築く

塩谷氏に養子に入った「ともなり」は、敵から一族を守ろうと、川崎城を築きました。川崎城は、宮川と弁天川にはさまれた山の上に構え、南北に深い堀を掘ったので、敵が攻めにくい城でした。また、見晴しもよく、御前原城や木幡神社も眺められました。1199年から1204年ごろにかけて築いたようです。

將軍実朝の側近として活躍

「ともなり」は、兄頼綱の出家(蓮生)により、宇都宮氏と塩谷氏を代表し、御家人として、鎌倉幕府に仕えました。御家人は、將軍と主従関係を結んだ武士のことですが、その中でも、「ともなり」は、特に三徳を備える武士として將軍実朝の供奉人に選ばれ、実朝の側近として活躍しました。

將軍実朝と和歌の交流 実朝の天分を伸ばす

特に和歌の才能を持っていた「ともなり」は、和歌の道に熱心な実朝とは、將軍と側近の関係を越えた深い交流を持つようになりました。1212年2月1日、風邪で勤めを休み屋敷にいた「ともなり」のもとに、

君ならで誰にか見せむ我が宿の 軒端ににほう梅の初花

の短冊に添えた梅の一枝が届きました。將軍実朝からのものでした。「ともなり」37歳、実朝19歳。

「ともなり」は、ほかの誰よりも將軍実朝の信頼を得ていたのです。

後に実朝は、「金槐和歌集」をまとめるなど、和歌の才能を発揮します。これは、和歌の第一人者、藤原定家の教えを受けたこともありですが、最初に歌を教え、天分を伸ばしたのは、「ともなり」と言っても過言ではありません。

歌人ともなり 出家して「信生」に

1219年、將軍実朝は、鶴岡八幡

宮でのお参りの帰り道、おいの公晩に突然襲われ殺されてしまいました。警護の武士の中には、「ともなり」の姿もありました。実朝が亡くなって、御家人たちは、髪を切り、出家したので、「ともなり」も出家し信生となりました。既に出家していた兄蓮生とともに浄土宗の教えを信仰しました。

い場所となるよう再整備が行われ、さらに5000個のあんどんを灯す「光と音のあんどん祭り」が開催されるなど、今でも川崎城跡を中心に多くの人が集うことは、「ともなり」の功績にほかなりません。

よみがえる

「ともなり」の郷 本市のまちづくりの礎を築く

「ともなり」は川崎城を築き、武家屋敷のあった館ノ川、城下町であった川崎反町、幸岡の基礎をつくり、その後約400年、塩谷地域が繁栄した礎を築いた功労者であったと考えられています。

また、今日のように、城の湯温泉センター、ふれあい館、自然観察ふれあい広場など、川崎城跡を中心に整備が進められたこと。加えて、平成19年に立ち上がった「川崎城跡公園再生市民会議」の皆さんにより、市民の方の憩

「ともなり」の二男、 笠間時朝

笠間十八代の基礎を築く

1205年、「ともなり」の二男、時朝は、笠間(茨城県)からの依頼を受け勢力争いを抑え、笠間地域を治めました。1219年ごろ、笠間時朝と名乗り、笠間十八代の基礎を築きました。そして、時朝は、複雑な地形を巧みに利用し、攻めにくく守りやすい名城と言われる笠間城を築きました。

また、歌人としても活躍しました。いずれも、父「ともなり」の影響が大きかったようです。

笠間市と 矢板市の交流

初代川崎城主、塩谷朝業と初代笠間城主、笠間時朝が親子であったことから、1980年(昭和55年)、本市と笠間市は姉妹都市の関係を結び、以来、市民団体や子ども会などが毎年交流を続けています。